

5. 冷媒ガス充填

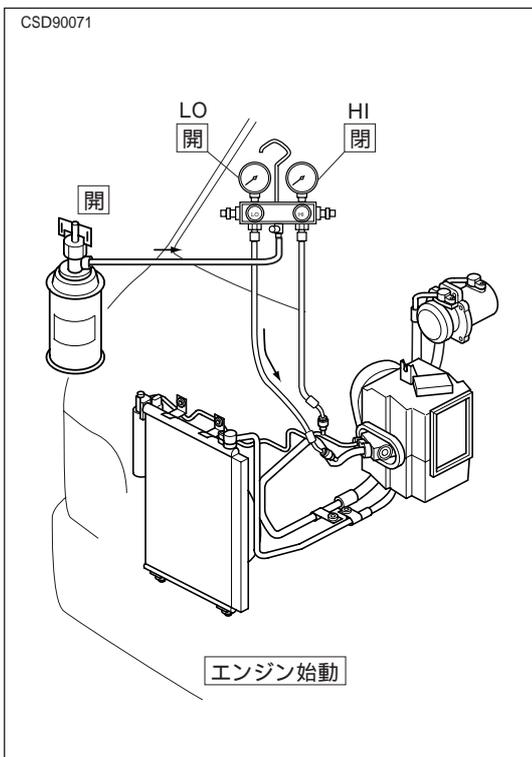
冷媒ガスの充填は、初めエンジン停止状態で高圧側から充填する。次にエンジンを作動させ（コンプレッサ作動状態）、低圧側から充填する。

1) 高圧側からの充填

エンジン停止状態で、ゲージマニホールドの高圧バルブ（HI）を開いて冷媒を充填する。

ゲージマニホールドの高圧バルブ（HI）とサービス缶バルブを閉じる。

注意：・サービス缶を直接加熱したり、熱湯の中へ入れないこと。缶が破裂する危険がある。やむを得ず、サービス缶を暖める場合は、40 以下の温水を使用すること。
・この作業を行うとき、コンプレッサは絶対に作動させないこと。コンプレッサが回ると冷媒が逆流し、サービス缶やホースが破裂するので非常に危険である。



2) 低圧側からの充填

ゲージマニホールドの高圧バルブ（HI）が閉じてあることを確認する。

エンジンを始動して、車の状態を以下の条件にする。

- ・エンジン回転数（アイドルアップ作動）：1050 ± 50rpm
- ・A/Cスイッチ：ON
- ・ファンスイッチ：最強
- ・温度コントロール：最強冷
- ・内外気切り換え：内気
- ・ドア：全開

ゲージマニホールドの低圧（LO）及びサービス缶バルブを開いて冷媒を充填する。

冷媒充填完了後、ゲージマニホールドの低圧（LO）及びサービス缶バルブを閉じてエンジンを停止する。

注意：・この作業を行うとき、ゲージマニホールドの高圧バルブ（HI）は絶対に開けないこと。高圧バルブを開くと、高圧ガスが逆流して、サービス缶やホースが破裂するので、非常に危険である。

- ・サービス缶を絶対に逆さまにしないこと。液状の冷媒がコンプレッサに吸い込まれ、液圧縮され、コンプレッサのバルブ等を破損する恐れがある。
- ・サービス缶を交換した場合は、必ずチャージングホース内のエア抜きを行うこと。

